

『ユリシーズ・ムーア』13歳までにやっておくべき50の冒険

いざ！
探Q

人気児童文学作家×プロフェッショナル

1つのテーマを15の疑問から掘り下げる新シリーズ、創刊！

新進気鋭の専門家による日本版監修のもとローカライズし、2冊同時刊行。

【対象】
小5から
小学5年生以上の
漢字にルビあり

P・パッカラリオ / F・タッディア★著 定価★各巻 本体1800円+税 A5判並製 / 144頁 / 2色刷



お金のなんの役に立つ？ 経済をめぐる15の疑問

吉川明日香(東洋経済オンライン編集長)★日本版監修 野村雅夫★訳
C8033 / ISBN978-4-8118-0671-6

きみと世界をつなぐもの、それがお金だ。

ほしいものを手に入れる。その方法をとことん考えていくと、「みんなの繁栄」につながる世界のあり方が見えてくる。値段はどう決まる？ なぜ働くの？ 株式会社って？ お金と経済をめぐる疑問を、いざ、探究！



わかりやすい
マンガ解説に、
コラムも充実



頭のなかには何がある？ 脳をめぐる15の疑問

毛内拓(脳神経科学者)★日本版監修 有北雅彦★訳
C8047 / ISBN978-4-8118-0672-3

天才も凡人も、脳の潜在能力はまったく同じ。

考える、記憶する、感じる、身体を動かす。人間が生きるためのすべてに脳はかかわっている。脳では何が起こってる？ 記憶のしくみとは？ 私と頭、どっちがご主人？ 謎多き脳をめぐる疑問を、いざ、探究！



お金はあなたの役に立つ？

経済をめぐる15の疑問

- 1 経済って、なに？
- 2 お金って、なんだろう？
- 3 働いてお金を得るって、どういうこと？
- 4 どうしてみんな、働くの？
- 5 商品は、どうやって生まれるの？
- 6 商品は、どこでどうやって売られるの？
- 7 だれが値段を決めてるの？
- 8 売ったり買ったりできないものは？
- 9 銀行は何をすること？
- 10 株式会社って、なに？
- 11 経済成長って、なんだ？
- 12 お金がないって、どういうこと？
- 13 お金についての国の役割は？
- 14 税金を払うのはなんのため？
- 15 グローバル市場って、なに？

大学生のころ、経済誌の記者になりたいと言ったら、周囲に「変わった子だね」と渋い顔をされました。当時はうまく言いかえせませんでした。いまなら、自由で自立した人生をつかみとるには、経済を知ることが必須だよ、と言えます。それは幸せへとつながる道。この本をとおして、身のまわりの経済から興味をもってほしいです。



日本版監修 吉川明日香 (よしかわ・あすか)

東洋経済オンライン編集長。1979年、熊本県生まれ。2001年、東洋経済新報社に入社。記者として、狂牛病問題などに揺れた食品業界を皮切りに、建設、精密機械、電子部品などの企業産業分野を取材し、『週刊東洋経済』や『会社四季報』に執筆。2012年、東洋経済オンライン編集部に入り、2020年10月より編集長。

頭のなかには何がある？

脳をめぐる15の疑問

- 1 考えるって、どんなしくみ？
- 2 脳では何が起きている？
- 3 私と頭、どっちがご主人？
- 4 脳は世界をどうやって感じる？
- 5 脳のなかでの役割分担って？
- 6 他人の考えを理解するには？
- 7 記憶って、なんだろう？
- 8 恐怖とつきあう方法は？
- 9 アイデアはどこからやってくる？
- 10 なぜ、眠らないといけないの？
- 11 知能は測定できる？
- 12 脳は学ぶのが好き？
- 13 脳をだますことはできる？
- 14 脳も病気になるの？
- 15 AIは脳を超えられる？

脳科学は現代人の必修科目。

文学も社会も人工知能も、すべてはこの1300gほどのやわらかい塊がつくりだしたものです。本書は、私たちが普段なにげなく世界を感じ、そこで生まれる脳の働き、ひいてはこころの働きが、いかに不思議で驚きの連続かをひとつひとつ気づかせてくれる本です。「私自身」を知る旅へ、さあ、いっしょに出かけましょう。



日本版監修 毛内拓 (もうない・ひろむ)

脳神経科学者、お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系助教、博士(理学)。1984年、北海道生まれ。「脳が生きているとはどういうことか」をスローガンに研究を続ける。単著に『脳を司る「脳」』(講談社ブルーバックス)、分担執筆に『ここまでわかった！脳とこころ』(日本評論社)など。

著者

ピエルドメニコ・バッカラリオ

児童文学作家。1974年、イタリア、ピエモンテ州生まれ。著書は20か国以上の言語に翻訳され、全世界で200万部以上出版されている。邦訳作品に、『ユリシーズ・ムーア』シリーズ(学研プラス)、『コミック密売人』(岩波書店)、『13歳までにやっておくべき50の冒険』(太郎次郎社エディタス)など。

フェデリーコ・タッディア

ジャーナリスト、放送作家、作家。1972年、ポローニャ生まれ。あらゆるテーマについて、子どもたちに伝えることばで物語る教育の伝道者でもあり、多彩なテレビ・ラジオ番組の構成・出演をこなす。P・バッカラリオとの共著に『世界を変えるための50の小さな革命』(太郎次郎社エディタス)がある。

【続刊予定】22年8月「歴史」編、23年2月「植物」編